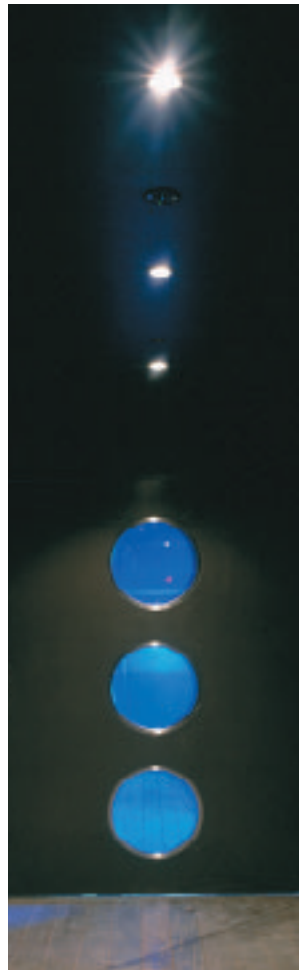


MAKOTO
NOZAWA
+
GETT



Works Collection

GLOBAL ENVIRONMENT THINK TANK
[SHIBUYA O-EAST]





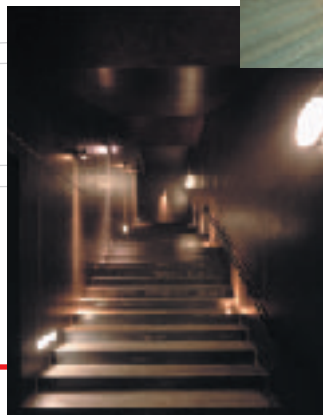
Commercial Space

□ □ ■ □ □ □ 商業空間 ①

SHIBUYA O-EAST

uCLIENT : 株式会社 コンチネンタル・リース
ADDRESS : 渋谷区道玄坂 Dougenzaka, Shibuya, Tokyo
DAY : 2003
Designed by : MAKOTO NOZAWA + GETT





Commercial Space

□ □ ■ □ □ □ 商業空間 ①

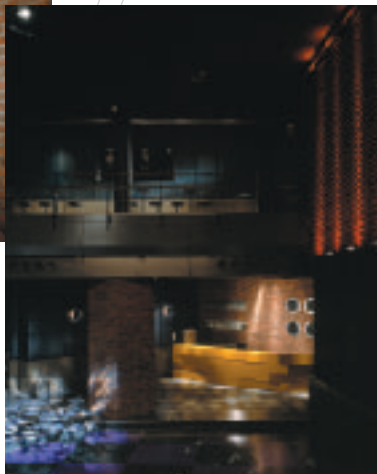
SHIBUYA O-EAST

CLIENT : 株式会社 コンチネンタル・リース

ADDRESS : 渋谷区道玄坂 Dougenzaka, Shibuya, Tokyo

DAY : 2003

Designed by : MAKOTO NOZAWA + GETT





HOT & COOL / 渋谷のライブハウス

道玄坂上から文化村へ抜ける「ライブリングストリート」と呼ばれている街路には、渋谷の音楽文化が軒を連ねている。

「SHIBUYA O-EAST」が「SHIBUYA O-WEST」とこのストリートを挟んで位置している。その構成は、2階・3階の吹き抜け空間をもつこの建物のメインとなる「O-EAST」、5階に「O-CREST」、地下1階には「DUO」の参加という大小さまざまな3つの音場（ライブハウス）からなる。

ライブハウスは音楽を媒体として発せられるエネルギー表現の場であり、その空間はその計り知れないパワーとエモーションを受け止めることのできる強靱さと優しさを兼ね備えることが求められている。大空間でありながらジャンピングに耐えられる構造、デシベルでは計れない音圧を受けとめる防音、エネルギーの表現を的確に伝えることのできる音響と照明、音場と裏方、エモーションとスタッフ、ホールとバーというように。

ホットで動な内部空間への想像と期待が高まるとは逆に、クールで静、以前からそこに存在していたかのような真新しさを消すテクスチャーが外部空間として必要だった。その表現手法として、下塗りの色が浮き出るような重ね塗りを、コンクリートの躯体に直に施す手法を選択した。

敷地の3辺（正確には4辺）が道路に面していることにより表裏が問題なく構成することができ、込み入ったこの地域の持つ楽しさを邪魔しないためにも、その特異な敷地の形状によって生まれる面々、辺々で変化する外周りが、大空間を内包する大きさをフェイクする効果があった。また、その特異な形状が、ホールとバーの関係のように内部空間にも変化と奥行きをもたらした。

1階の半外部的空間はストリートを隔てた「O-WEST」とつながりをもちつつ「DUO」、「O-EAST」、「O-CRAFT」のホワイエの役割を担う。

内面で燃えるエネルギーの熱さと人の手でしかできなかったテクスチャーのもつ温かさをクールな外装面から感じ取ってもらえるだろうか。（野沢誠）

Commercial Space

商業空間 ①

SHIBUYA O-EAST

CLIENT : 株式会社 コンチネンタル・リース
ADDRESS : 渋谷区道玄坂 Dougenzaka, Shibuya, Tokyo
DAY : 2003

Designed by : MAKOTO NOZAWA + GETT

